



2026 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 i s p a c e
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 袴 田 武 史
(コード番号：9348 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役 CFO 兼 事業統括 野 崎 順 平
エ グ ゼ ク テ ィ ブ
(TEL. 03-6277-6451)

**三菱重工業株式会社とのミッション 3 に関する打上げ契約
(H3 ロケット) 締結に関するお知らせ**

当社は、当社グループが計画するミッション 3 に関して、三菱重工業株式会社との間で H3 ロケットを活用した打上げ契約を取締役会にて 2026 年 7 月 29 日付で締結することを決議いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 本契約の概要

(1) 契約先	三菱重工業株式会社
(2) 契約締結日（決議日）	2026 年 7 月 29 日
(3) 対象ミッション	ミッション 3
(4) 打上げ予定時期	2028 年（予定）
(5) 対象機体	ULTRA ランダー
(6) 契約金額	非開示※
(7) 費用計上時期	2028 年（予定）

※契約上、相手先との守秘義務があるため、金額については非開示とさせていただきます。

2. 本契約の意義および今後の展望

本契約により、ispace は三菱重工がこれまで培ってきた信頼性の高い輸送能力を確保し、「ULTRA」による確実なミッションの実行および成功に向けた体制を強化いたします。国産ランダーと国産ロケットで遂行する月面輸送システムの構築となる本ミッションは、日本の宇宙産業を月へと拡張させる画期的な一歩であり、新たな月面探査の時代の象徴です。

ispace はこれまで、過去二度の月ミッションを通じて月面への軟着陸を目指し、いずれも月周回軌道まで安定的な到達能力を実証してきました。その経験と技術的知見を生かし、現在は、経済産業省の SBIR 補助金を活用し、新たなランダー「ULTRA」の開発を進めております。より高性能かつ高品質、さらに早い月へのアクセス能力を備えた「ULTRA」の開発を通じ、月面への高頻度かつ低コストの輸送サービス確立を目指しています。

三菱重工は、長年にわたり日本の宇宙開発に参画してきました。現在は、H-IIA および H-IIB に代わる次世代の大型基幹ロケットである H3 ロケットの開発・製造を担当しています。

地球から宇宙へアクセスする第一歩となる打上げ輸送能力の確保は、国の宇宙産業を安定的に育てる上で不可欠な要素です。三菱重工が有する確かな打上げ技術に加え、ispace が有するランダー開発および運用実績を組み合わせ、日本の民間企業の連携による月面輸送システムを実現することは、国内の宇宙産業をさらに月へと拡張させる上で画期的な一歩と言えます。

さらに、両社は本契約を契機として、輸送サービスにとどまらず、将来的な月面インフラ構築や関連技術領域における協力関係の強化についても検討を進めてまいります。国内産業が一体となった月面探査・輸送システムの形成を継続的に促進し、日本発の宇宙産業基盤の拡大とシスルナ経済圏の創出に貢献していきます。

3. 今後の見通し

本件の費用計上は 2028 年（予定）の打上げ時点と見込んでいるため、2027 年 3 月期の通期連結業績予想に与える影響はございません。今後、その他重要な財務上の影響が発生することが明らかになった場合には速やかに開示いたします。

以上